

# 1月10日入営、4月出発、9月遼陽入

抽籤結果広報

入當地期日広報

入營部隊	入營地	入營期日	大字	入營兵氏名
歩十六聯隊	新發田	入營六、一、〇	中野山	山田勝榮
"	"	"	西山二ツ	猿ヶ馬場
"	"	"	高橋	長次
"	"	"	田川	久雄
"	"	"	姥ヶ山	小竹繁司
"	"	"	中山	永井彌之助
"	"	"	馬越	熊倉 協
"	"	"	中山	野上 行平
"	"	"	下木戸	渡邊 平彌
"	"	"	(志願)	牡丹山 高山 正夫
鐵道二聯隊	千葉	入營六、四、一	佐藤 一藏	大字
歩十六聯隊	新發田	入營六、四、一	中野山	入營兵氏名
輔重二大隊	仙台	入營六、四、一	佐藤 一藏	
入營部隊	入營地	入營期日	大字	
近歩二聯隊	東京	入營六、六、一	姥ヶ山	
"	"	"	田村 信輔	
"	"	"	田中 末司	
回前期ノ部				
回後期ノ部				

## 1930年(昭和5)現役兵の入営 期日・部隊等の広報

## 1930年(昭和5)8月19日実施の抽籤の結果広報

『石山村報』第 81 号

# 滿州事変…中国東北部「満州」にたいする侵略

1931(昭和 6)年 9 月 18 日、満州にいた日本軍(関東軍)参謀らは、奉天郊外の柳条湖で南満州鉄道の線路を自ら爆破しておきながら、これを中国軍のしわざだといって中国にたいする武力侵略を開始しました。政府は初め、「事変」として戦争を隠蔽し、戦いを拡大しない方針を示しました。しかし、陸軍は戦線をひろげ満州全土を占領しました。第 2 師団の一員として関東軍の主力部隊を担ったのが新発田第 16 連隊の兵士でした。1932 年 3 月、日本はかいらい国家として「満州国」をつくり、清の最後の皇帝溥儀を執政とし、日本の役人を送り込んで、政治・経済軍事の実権をにぎりました。

## 線路の現場検証



## 奉天城に入った日本軍



皇帝溥儀夫妻



写真出典『日本の歴史  
7』ほるぷ出版